



あ や め



進路を切り拓く！ 3年生，教達検がありました

10月4日（火），3年生の教育課程到達度確認検査（通称『教達検』）が実施されました。進路の選択・決定の際に参考となる重要な資料となるテストです。自ら進路を切り拓くためにも，ここが頑張りどころでしょう。11月10日（木）には，2回目の教達検が控えています。結果に一喜一憂せず，自分の得意分野や弱点など客観的に分析し対策を立てられるようにしたいものです。2つの教達検の間には中間テストもあり，日常の学習と受検勉強の同時進行で大変な思いをしていたことでしょう。だからこそ，計画的に学習を進められるように願ってやみません。また，1，2年生にとっても，受検・進路選択は遠い未来の話ではありません。今学んでいることに真摯（しんし）に取り組み，その時その場で慌てることの無いように，日々の学習に取り組んでいきましょう。

任命式・表彰式も完全形で行うことができました

10月21日（金）には，後期学級役員任命式・表彰式も行われました。コロナ禍でオンラインになったり，発表は学級掲示になったりと，呼名などができず，ほぼ3年ぶりの任命式・表彰式と言っても過言ではないくらい久々の完全な形での式になりました。

任命式では，呼名に対する返事の声も大きくはっきりした生徒が多く，学級・学年のリーダーとしての活躍を期待せずにはいられないものでした。

上田校長先生からは，学校生活のいろいろな面で質が上がっていることに触れ，「当たり前前のレベルを上げる・高みに登れ」と檄（げき）をいただき，「3年生は卒業するときの姿を格好良く後輩に見せられるように，さらに下級生にあんな格好良い先輩のようになりたい，と憧れられる卒業を迎えるように。」と言葉が贈られました。



中間テスト終了！ 学習の成果は？

中巨摩新人体育大会がようやく終わったと思えば，翌週には中間テスト。テストは10月21日（金）・24日（月）に実施されました。特に1・2年生にしてみれば，中巨摩新人に向けての取り組み（部活動によっては県新人も）と，中間テストに向けての取り組みの同時進行で大変だったと思います。手ごたえのほどはどんなものだったのでしょうか？すでに各教科答案が返却されていることと思います。結果（点数）のみを気にすることなく，問題の解き方・考え方はもちろん，テストに向けての取り組み過程も含めての反省を行っておきたいものです。1学期中間⇒1学期期末⇒2学期中間⇒・・・。「またかぁ」と，いつかどこかで見た光景を繰り返すのは，時間の浪費であり，あまりにもったいないことです。P（計画）D（実行）C（評価）A（改善）のサイクルを習慣化しましょう。3年生は2回目の教達検が11月に迫っていますし，その先には1・2年生もふくめ期末テストが控えています。計画的に，また効率的に学習に取り組む意識をもちたいものです。

10/21 任命式より



県新人体育大会！ しのぎを削る！！

中巨摩新人体育大会が終わり、中間テストが済んだばかりではありますが、県新人体育大会が、早いところでは始まっていて、すでに陸上部が男女ともに優勝を果たしています。幸先良いスタートができた、この勢いに乗り、他の部活動も上位進出を目指し、取り組みを強化しています。

野球部は10月22日（土）に優勝候補の一つである石和中に3点のビハインドをひっくり返すも、サヨナラで惜敗してしまいました。29日（土）にはソフト部・サッカー部、30日（日）には男女バスケット部の初陣が控えています。さらに、11月3日（木）には弓道部・剣道部・男女バレー部が、5日（土）には男女卓球部団体戦（個人戦は12（土））の試合が実施されます。試合を残している部活動の活躍に期待しています。

「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」といったのは、野球の故野村監督。ここでの経験が、春夏へとつながります。各部とも課題をみつめることが、この大会の大きな目的の一つにもなると思います。上手くいったことをさらに伸ばせられるようにするにはどうすべきか、一步届かなかったのはなぜか。それぞれ課題を見出せるよう、来年の選手権・総体に向けての第一歩である県新人体育大会を全力で頑張りましょう！

10/13・15 中巨摩新人体育大会より



10/13・15 県新人体育大会より



10/21 表彰式より

